

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 9 月 5 日～平成 18 年 9 月 12 日)

平成 18 年 9 月 13 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

9 月 7 日 (木)

- 小惑星探査機「はやぶさ」のデータ解析から発見された宇宙風化作用についての論文がネイチャー誌に掲載

【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

9 月 7 日発行の英国の科学雑誌ネイチャーに小惑星探査機「はやぶさ」のデータ解析から発見された小惑星の日焼け現象(宇宙風化作用)についての論文(国立天文台、東京大学等と共著)が発表された。

9 月 8 日 (金)

- 大型展開アンテナ小型一部分モデル 2 (LDREX-2) の打上げ延期について

【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

大型展開アンテナ小型一部分モデル 2 (LDREX-2) は、平成 18 年 9 月 20 日(日本時間)に、南米仏領ギアナのクールー宇宙基地からアリアン ロケットにより打上げられる予定だったが、アリアン・スペース社から打上げが 9 月下旬以降になるとの連絡を受けた。(打上げ日未定)

9 月 11 日 (月)

- H- A ロケット 10 号機による情報収集衛星光学 2 号機打上げ成功 【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】
宇宙航空研究開発機構は、平成 18 年 9 月 11 日 13 時 35 分(日本時間)に、種子島宇宙センターから情報収集衛星光学 2 号機を搭載した H- A ロケット 10 号機を打ち上げた。情報収集衛星光学 2 号機は所定の軌道に投入されたことが確認されている。

宇宙開発に関する海外の動向

9 月 5 日 (火)

- マレーシア、宇宙飛行士候補者 2 名を発表【マレーシア】
9 月 4 日(月)、マレーシアは、同国初の宇宙飛行士候補者として、シーク・ムスザファル・シュコル氏(34 歳、医師)とそのバックアップとしてファイズ・カリード氏(26 歳、歯科医)を選定した。2 名は、今月末からロシアで 12 ケ月に亘る訓練を受け、内 1 名が 2007 年 9 月にロシアのソユーズ宇宙船に搭乗し、国際宇宙ステーション(ISS)に滞在する。

9 月 10 日 (日)

- NASA、スペースシャトル打上げに成功 【米】
9 月 10 日(日)0 時 15 分(日本時間、以下同) 米国航空宇宙局(NASA)は、ケネディ宇宙センターより、スペースシャトル「アトランティス号」(STS-115/ISS 組立ミッション: 12A)の打上げに成功し、11 日(月)19 時 48 分、ISS

とのドッキングに成功した。なお、打上げ時に外部燃料タンクから断熱材の落下が確認されたが、NASA は、点検の結果、現在のところ帰還には問題ないとしている。帰還は、20日（水）18時57分の予定。

GSLV の設計自体に問題はなく、製造工程で不良品が発見されていれば事故は回避できたことから、ISRO ナイル総裁は、2007年6月に、同型の GSLV ロケットを打ち上げる予定と述べた。

9月11日（月）

- 韓国と EU、ガリレオへの参加で協定締結 【韓、欧】

9月9日（土）韓国及び欧州連合（EU）の首脳会談が行われ、欧州の計画する航行測位衛星システム「ガリレオ」計画への韓国の参加に関する協定が締結された。

同計画には、EU 以外の国家として中国、イスラエル、ウクライナ、インド、モロッコが既に参加している。

- インドの GSLV 事故調査委員会、報告書を提出 【印】

9月6日（水）インド宇宙研究機関（ISRO）の事故調査委員会は、2006年7月10日（月）に失敗した GSLV ロケットの打上げについて、原因調査報告書を提出した。

打上げ失敗の主な原因は、4基ある液体補助ロケットブースタのうちの 1 基の燃料レギュレータの直径が、設計仕様の 16 mm よりも 1 mm 大きい 17 mm であった点¹とされ、より多くの燃料が流れ込んだことにより液体燃料エンジンの推力コントロールが有効に機能しなくなった。

¹ この原因について、井口委員長が「他国のことだから言うべきでないのかもしれないが、このような原因が有りうるのだろうか。」と他の委員に問いかけていた。誰も反応しなかった。